



山村御流の生け花 ツルウメモドキ 山路野菊

画 山寄淑子

慶蔵院寺報

公孫樹

2025年12月発行

第167号

浄土宗慶蔵院
伊勢市小俣町元町1211
TEL 0596 (22) 3726

十一月一十四日、地蔵堂開帳。せひ、おいで下さい。

御祈祷、お加持の受付は、先着順に、本堂にて。

十二時から、「銀杏」飯」をあります。

御祈祷、お加持の開始は、午後一時から。
できる限り一時には、お集まりください。

無料です。地蔵堂へのお賽銭は、ありがとうございます。

十一月の御開帳には、十七名の方がおいで下さいました。内、太田さんと中山さんは、朝から「銀杏」飯」を作っていました。また来てくださった方から、十二個も手づくりのプリンを差し入れてもらひて、「ザート」にいたくことも出来ました。

本堂でのお加持、一人十分を田舎に務めさせていただきました。受けている方の顔が、どんどん明るく笑顔に変わっています。また来てくださった方から、十二個も手づくりのプリンを差し入れてもらひて、「ザート」にいたくことも出来ました。

御祈祷は、受付順に、△氏名と願いごと》を書いていただき、地蔵堂で行いました。祈祷は般若心経とお念佛にて行います。人五分程度です。御祈祷後、手書きの「身代り地蔵尊名号 銀杏」をもらっていたきました。

祈り、願うことは頂くことです。転重軽受と、必ず護念していただければと信じて、祈祷を受けていただきたいと思います。今回、皆さんから、こんな「お願い」がありました。

・家族が健康でありますように。

・元気で明るく楽しく生きられますように。

・病気の平癒、家内安全、健康長寿、夫婦円満、交通安全。

・首、腕、腰の痛み解消、目・耳の不調回復。

祈りこそ信仰の原点です。信仰は、人生の根っこです。「身代り」への祈りを通して、根っこを育めて頂きましょう。

お葬儀ができた場合は、何時でもかまいません、最初に、慶蔵院にご連絡ください。電話 22-3726

12月の行事予定



3日(水)	写経会	午前10時～	本堂にて
7日(日)	成道会	午後1時～	本堂にて
8日(月) 22日(月)	華道「山村御流」教室 講師 小森清真先生	8日 午後1時半～ 22日 午前10時～ 22日はお正月用のお花になります	
10日(水)	・羊毛フェルト教室 講師 monmo先生 ・男性詠唱隊 ・落語会「いちご亭」	午後1時～3時 参加費 1500円 午後1時半～3時 本堂にて 午後7時～ 一會館にて	
11日(木)	ともいき英語サロン 講師 三浦邦昭先生	午前10時～11時半 午後1時半～3時 一會館にて 参加費 1回 1000円	
17日(水)	健康教室 講師 馬場久美子先生	午後1時～3時 本堂にて 参加費 500円	
24日(水)	戦没者慰靈・平和の鐘 地蔵講 祈願とお加持	午前8時頃 地蔵講 午後1時半～ 祈願は10時、お加持は1時～3時	
28日(日)	寺周辺住宅屋根・樋掃除	午前8時～	
31日(水)	淨焚式・除夜の鐘	午前2時～淨焚式 午後9時～仏名会・除夜の鐘	
12・26日 (金)	茶道教室 講師 河井宗恵先生 樋口宗恵先生	午後7時～子ども茶道教室 午後7時半～大人茶道教室 参加費 大人500円 一會館にて	

螺（巻毛頭）のように巻いた毛髪で、如来が有する三十二の特徴である三十二相の一つ「毛上向相」による頭髪表現のことで、彫刻や絵画で表現する場合、原則的に儀軌に準じて右巻きに表されるそうです。有名なのは、奈良東大寺の大仏（華厳經の教主・毘盧遮那仏）で、文献上では九六六個、現在の頭部には四九二個あるそうです。右巻きです。ちなみに鎌倉大仏は六五六個の螺髪があり、左巻きだそうです。ただし大日如来には螺髪はありません。四～五世紀頃の古代インドグプタ朝の如来像に、螺髪がみられます。唯識思想を大成させた無著・世親兄弟はこの頃の人です。

さて、なぜ螺髪は渦巻なのでしょうか。私が思うに、この世界の事を表しているのではないから。地球は北極上から見るに反時計回りに自転し、太陽の周りを同じく反時計回りに公転しています。太陽は天の川銀河の中心を時計回りに回っています。アンドロメダ星雲なども渦巻いて回っています。また、螺髪ひとつひとつを宇宙を表していて、螺髪の数だけ宇宙があるので、佛教では大きな数は、たくさんを意味するので無限にあるのではないかと。ミクロの世界に目を向けると、素粒子も右巻きや左巻きで回っているそうです。それぞれ反対の性質を持っています。

（文 麻畑公生）

慶應院豆知識 part2

⑩

「螺髪」



その髪はねえ
つていうんだよ！

住職の健康回復への道のり(46)

十一月一日、朝起きると足が痛くて歩けない。右足の太腿に肉離れのような痛みが走り、前に進めない。かがむと、なんとか進むことが出来る。そのまま座ることもでき、正座も問題なし。ところが立つて、背筋をのばすとピリッと引きつる。立つていると太腿が腫れてきてジンジンする。たまたま来てくれた寺世話人（幸森如さん）がさすってくれたこの日は何とか仕事ができた。静かに座つていれば大丈夫。歩き出すと、二分ともたない。立ち止まり、さすって、前かがみになつて、また歩き出す。ハ尾でのレントゲン、MRI、血液検査は、全て異状なし。なのに電車の中では、立つておれずに手摺に寄り掛かった。石垣院長は、この間の生活記録に基づいて、二ヶ月間を振り返らせててくれた。

八月末の華展での一日間の立ちっぱなし。九月、十月の二か月で四回の銀杏洗い。本堂で躊躇して左目上を五針縫った怪我、十月二十六日の念佛行脚一時間半、十月三十日の司会…。これらの積み重ねが、「冷え」によって、痛みとなつて現ってきたと分析。痛い個所を温めるため、貼るカイロを使うことにより一週間で回復させてもらひえた。痛み止めは使わなかつた。

菩提寺である慶蔵院の恒例秋のバス旅行で
今年はの内に奈良の三カ寺を参拝してきました。

「知恩」誌に以前、連載も持たれていた奈良国立博物館名譽館員の西山厚・帝塚山大学客員教授に同行いただき、興福院では、所縁の江戸時代の大仏復興に携われた公慶の話、また白毫寺では、阿弥陀様に極楽往生を願い、閻魔王で地獄のさまを思い、地獄に落ちた時のために地蔵菩薩に救済をお願いできるお話をいただきました。

さらに長岳寺では、画面いっぱいに描かれている九幅から構成されている十王図を前にご住職からの興味深いご法話を聴かせていただき、有意義な一日となりました。



「知恩」十一月号 読者の声欄に
奥田さんの文が掲載されました!!

「大躍田 除夜の鐘」で お参りください!!



十二月三十日(水)

午後一時の淨焚式

十一時四十分～除夜の鐘

福引もあります。

お食事にまつ

**今年の成道会は
4人のゲストです !!**

「成道会」は、お釈迦様のお悟りをお祝いし、私たちがこの世を、明るく・楽しく・仲良く・幸せに生きることが出来るようことが願つて行われる法要です。

一時の法要・男性詠唱隊

一時半～柳本さん……嚙下

一時の安樂形の東風より落語
一時半の金治ちゃんの春日ハ郎歌

一時半の金谷の文の書田ノ良輔
三脚の真鏡のいん人形・低芝居

まだ大丈夫變化について行く氣概

(「知恩」誌十一月号「柳壇」に掲載)

落語会「いぢや亭」
十二月十日(水) 午後七時～慶蔵院「一會館」
にて
出演 法話 慶蔵院住職 紙切り 安樂亭小東風
落語 南遊亭栄歌 安樂亭東風

法話 慶蔵院住職
落語 南遊亭栄歌 紙切り 安楽亭小東風
落語 安樂亭東風



二時より安楽寺の東風さんより落語
二時半より金谷さんより春日八郎歌
三時より真寛さんより人形・紙芝居



念佛は
育てられてきた
祈られて
育てられてきた
私の中で
永遠の
いのちに
つながるとモ
格マ

二ページ、奥田悦生さんが投稿された「バス旅行記」に、西山厚先生からお聞きしたお話がまとめられていました。西山先生は、こんなふうにはなしてくださいました。「みなさん、何かの手違いで、もし地獄に落ちることがあつたら、よく耳を澄ましていてください。地獄にはお地蔵さんがないで、歩き回つておられます。ここにおられるかは、お地蔵さんの持つておられる錫杖の音でわかります。シャンシャンと音がしてたら、そのもとへ、まっしぐりに走つていって、助けをもとめるのです。きっと、願いを受け止め、地獄から救い出してくれますから…」と。

錫杖とは、十月の大念佛、午前中の下小俣内の念佛行脚の際に、先頭の中村定一さんが持つて歩いておられる棒状の仏具です。この世を歩くお地蔵さんの姿です。

慶蔵院の「身代地蔵尊」は、この現世に居てくれて、私たちと一緒に歩んでくださっているお地蔵さんなのです。「如来のいもせわるとじり無きが故に、いま現にここにましますことを信じて…」と、まつ毛のように、見えないけれども、田の前に、現におられるのです。「身代地蔵尊」を祈り、恩寵をいただいたなりば、必ず私たちの願いが成就されると確信しています。

一ページで十一月二十四日(水)の地蔵堂開帳のお知らせをしています。十一時からの「銀杏ご飯」は先着順に食べていただけます。無料です。用意した分だけしかありませんから、早い目にいでください。「ご飯には、皆さんを、お迎えしてくださる方々のお気持ちが籠っています。これを頂戴できるだけでも、元気とエネルギーをいただくこと、間違あません。日頃の喧騒から離れて、ゆっくりした時間が流れる一日を「身代地蔵尊」と、ともに過ごされてはいかがでしょうか。一時からの幸森如さんのお話をぜひお聞かねください。